

大川支部の紹介

文化協会

支会長 朝倉忠夫

古戦場雨滝山を軒場に望む環境に恵まれた大川公民館が大川支部会の活動の拠点です。早くから生涯学習の場として文化協会を発足させており、現在会員数は、三十五団体、七百七十二名を数え、月曜日の休館日を除き熱心に活動しています。

芸能部門では、大正琴が三団体あり、会員数も多くて大いに競い合っています。女性が一番興味を持っている楽器ではないでしょうか。新曲もどんどん挑戦しています。

ジャズダンスは、親子で会員となり、ダンスを通じて親子の触れ合いを大切にしています。ダンスに手話を取り入れ、障害のある人たちにも楽しんでもらえるようにしています。

コーラスグループは、新たに男性が加入したことで、混声合唱団として



スタートすることとなりました。また、男性が加入したこと、市一円からの加入で会員数も大幅に増加しています。民舞同好会はいつまでも元気で楽しく体を動かしたいと言う皆さんが気持ちを一つにして練習をしています。銭太鼓は、動きが複雑なので頭も使うし、体も動かせるので楽しみながらボケ防止には最適ということですね。舞台が華やかなので、各種イベントによく出演しています。縮太鼓まなびいは、南川太鼓の打ち方で、会員の皆さんで歌に合わせて振り付けを考えています。最近ではジャズダンスと競演するなどして、演奏の幅を広げています。三味線クラブ、日舞、詩吟は今のところ会員こそ少ないのですが、文化祭やイベントにも積極的に出演し、熱心に活動していますが、今後は新会員の確保が課題です。また、香川県指定無形文化財の南川太鼓は、昔から南川の山里に受け継がれ、今も各種のイベントで好評を博しています。伝統芸能保存会の皆さんも、獅子や奴、鉄箱、鉄砲

の伝統芸能を後世に伝えるべく、文化協会の一員として文化祭の芸能発表会にも参加しています。

これら芸能部門の団体は、文化祭での芸能発表、みろく公園等で行われる各種イベントへの参加、福祉施設でのボランティアに出演など、練習の成果を発表する場も日毎に増えています。更に、市の部門別発表の場が設けられ、各支部間の交流が活発化し、新鮮で、より楽しい気持ちで発表が出来るようになったと思います。

文学、文芸部門では、短歌教室、みろく短歌会があります。故児玉重美先生の薫陶を受け、優秀な短歌を生みだしてきました。師の意志を受け継ぎ勉強しています。

美術、工芸部門では、文化協会発足以前から、息の長い活動をしている木画会があります。県展にも入選する等レベルの高い講座です。書道教室は、町内婦人の教養講座として早くから活動を行っています。優美な姿勢の会員が筆を手に、書に親しんでいます。七宝焼教室、みろく



手作り会の講座は、他の地区にないと思いますので、ぜひ大川公民館、またはみろく公園自然体験館に来てほしいと思います。みろく手作り会は、焼き物と竹細工の作品を作っています。

古い伝統的なものに、新しい息吹を吹き込んだ作品づくりにアプローチしています。また、体験学習にも積極的に取り組み、多くの青年や学生たちが、物作りの難しさと楽しさを学んでいます。押し花教室は、昼間の講座で、ゆつくりとした時間の中で、花を自由にアレンジしてアーチスト気分が味わえます。木目込み教室も他の地区にない講座です。日本の伝統的な布を使って豪華な人形が出来ています。

アメリカン・フラワー、オリジナル・ドライフラワー講座は、最近会員が増えていきます。室内を手作りのインテリアで飾ってみたいという人が興味を持ってきています。文化祭での展示出品、さぬき市文化協会部門別活動では、いち早く二十一世紀館で展示出品するなど積極的に活動しています。

生活文化部門として、家庭生活のあみものクラブがあります。昼間、中高年の人が癒しの場として、世間話をしながら手編み



のベストやセーターを作っています。文化祭では、毎年楽しい作品を展示しています。十二月には、二十一世紀館で開催された生活文化部門家庭生活分野交流展示会に参加しました。

料理クラブは、年会費千円で旬の材料を使い、栄養のバランスと病態別に献立を考えた料理を作っています。十五年度からは、文化協会全体で会員募集を行ったこともあって、さぬき市内一円から会員が集まって来ています。

大川将棋スクールは、子ども、女性も含め活発に活動しています。盆栽クラブ、園芸同好会は女性の会員も多く、趣味の会としての存在感があります。生き甲斐と地域の人々との交流に一役買っています。

手話サークルみろくは、現在会員数は少ないのですが、地区手話サークルの受け皿として、

文化祭

地域住民の文化意識の向上と交流を目的に、さぬき市民文化祭in大川が平成十五年十一月八日から九日の二日間、さぬき市大川公民館周辺で開催されました。作品展展示場の体育館には、文化活動で制作した作品、練習の成果を発表する習字や絵画などそれぞれの分野の力作が所狭しと展示さ

れていて、訪れる人たちの目を惹かせていました。また、一角には体験コーナーも設けられていて、オリジナル・ドライフラワー作りに挑戦する人たちもいて、場内は楽しい雰囲気包まれていました。芸能発表大会が開かれる大ホール会場では、色鮮やかな衣装をまとった人たちが、日頃の練習の成果を観衆の前で披露、おおきな拍手を浴びていました。中でも交流事業で参加した長

尾支部のあじさいステップスが民族衣装を着て踊るフォークダンスに一段と大きな拍手喝采が巻き起こりました。展示会場周辺には、大川町女性六団体と、さぬきか園が出演するテントが立ち並び、季節の野菜や果物、シクラメンの花や不用品の即売、うどんや寿し等のパサーコーナーもあって終日活気にあふれていました。初日こそ好天に恵まりましたが、二日目は朝から雨模様となり関係者を心

配させましたが来場者の出足も順調であったのと、長尾支部との交流展示や芸能参加、さらに大道芸人の登場などもあって例年になりに盛り上がりの中で文化祭を終了しました。十一月の市民文化祭には、大川支部へ交流出演しました。長尾エアロビクスは、いつまでも若く美しいプロポーションでありたいと願いつづけ、汗を流しています。かぐや姫カーニバル、しようぶ祭り等、各種イベントにも積極的に出演しています。フォークダンス長尾は、全国スボレク祭スボレク香川2003に八名が役員、選手として参加しました。各県より十人がグループとなって踊りましたが、香川県代表としてフォークダンス長尾から四名が選ばれ「フォークダンスサポート」と題して、民謡の人たちと一緒に出場しました。香川県で開催された全国スボレク祭に出場できて感激しました。芸能文化協会の交流で、さぬき市民の絆が更に深まるよう期待しています。



長尾支部交流(あじさいステップス)

今年から新たに「パソコンクラブ」の講座が開設されました。本格的な活動は十六年度からになると思いますが、これからの活動を期待しています。以上、簡単に支部活動の状況を紹介しました。荷物にならない趣味を生涯の友として、前向きな活動を目指しています。

「星を見る会」・「パソコンクラブ」の講座が開設されました。本格的な活動は十六年度からになると思いますが、これからの活動を期待しています。以上、簡単に支部活動の状況を紹介しました。荷物にならない趣味を生涯の友として、前向きな活動を目指しています。

芸能部門 石川治子

芸能部門は、民族芸能、演芸、邦舞、洋舞の四分野三十三団体が活動しています。民族芸能分野は、精霊踊保存会、津田伝統芸能保存会、津田盆踊り同好会、JA大川北部みずほ会、大川町伝統芸能保存会、あはれみこし保存会、はしご乗り保存会の七団体が、昔の生活の中から生まれた民族芸能を大切にし後世の人に伝えるために保存会を結成しています。地域の盆踊りやお祭りに参加しています。演芸分野は、劇団フチ・ミュージカル、寒川町マジック同好会の二団体です。劇団フチ・ミュージカルは、さぬき市の津田町を拠点に活動していて、今年が創立十八年になる歴史ある劇団で、毎年創作したミュージカルを上演し、県

内外で活動しています。寒川町マジック同好会は、老人会や子供会、福祉施設を訪問し、華麗なマジックを披露しています。邦舞分野は、日舞津田若葉会、民謡の集い、津田民謡同好会、末広会、舞踊クラブ若藤会、民舞同好会、末公民館民謡部、鴨部婦人会民謡部、志度婦人会民謡部、鴨部婦人会民謡部、志度梓踊会、まいはな会、志度民謡研究会、雅千代会、さぬき市日本舞踊同好会、石田婦人会民謡部、新舞踊クラブ、虹の会、豊者舞会、長尾民舞同好会の二十団体です。平成十五年六月八日(日)に志度音楽ホールで「民踊・舞踊発表会」を開催しました。各支部で練習を重ね、競い合い、熱演が会場席まで伝わってきました。十六年度も六月十三日(日)に計画しています。

洋舞分野は、ジャズダンスくらぶ、あじさいステップス、長尾エアロビクス、フォークダンス長尾の四団体です。ジャズダンスくらぶは親子で会員になり、親子の触れ合いを大切にし、幼児のかわいいダンスと大人の手話を取り入れます。あじさいステップスは、しようぶ祭りや行基苑、ヌーベル寒川などの施設を訪問して喜んでもらっています。岡山の芸術祭にも年に一度、交流参加しています。



民踊・舞踊発表会